

# 茨城NPO情報

## MONTHLY COMMONS

茨城のNPO活動を応援する月刊情報紙

...巻頭コラム・NPOのひとびと・トピックス

...NPO一日体験・情報掲示板・五軒町だより・あとがき

第23号

2004.10

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コムズ  
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町2-2-23生野ビル102号  
Tel 029-300-4321 Fax 029-300-4320  
URL: <http://www.npocommons.org>  
E-mail: [info@npocommons.org](mailto:info@npocommons.org)

### 移動の保障を考えよう

#### コ ラ ム

これまで、法的な位置づけが不明確だった市民団体等による福祉目的の移送サービスについて、今春、国からガイドラインが示されました。現在、県内では30を超える市民団体と過半数の市町村社会福祉協議会が、障がいや経済的な理由などでバスやタクシーなどを利用できない人の外出支援を行っています。これらの団体が、タクシー事業者になるのではなく、(白ナンバーのまま)事業を継続するには、第1に自治体が設置する運営協議会で一定の利用者の移送の必要性を認めもらう必要があります。また、現制度では、福祉車両による移送のみ認めています。実際は普通車両による移送が殆どです。第2の課題はセダン特区の申請。さらに、第3の課題は介護保険や障がい者福祉の利用者以外でも、移送を必要としている人がいます。これらの人が対象から除外されないようにすることです。これらの課題について、各自治体は1年半以内に対応することとされていますが、県内で動きがあるのはごく一部です。移送の問題は、誰もが安心して外出できる地域をつくるために、誰がどんな役割を担うか、という点が重要です。まず利用者や家族、移送事業や行政の関係者が実情を理解し合うことから始める必要があります。

(文 理事 横田能洋)

茨城県認証NPO法人

234(9月29日現在)

内閣府認証県在NPO法人

59(8月31日現在)

## 地域の力で、学びの場を豊かに



NPO法人 リヴォルヴ学校教育研究所

理事長 小野村 哲 さん

#### N P O の ひとびと

#### 目的は学校と 子どもの支援

NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所(略称ライズ)は、子どもや教師を応援することを目的としたNPO。中学校で英語を教えていた小野村さんが、学校現場で感じた課題に取り組もうと30代で退職し4年前に設立。主に不登校の子ども達が通うライズ学園の運営と、教育に関する研修や相談、県教育委員会との協働事業などに取り組んでいる。ライズ学園には、毎日10数名の小・中・高校生が通い、ひとりひとりに合わせた学習や他の

NPOの協力も得た体育や農業なども行っている。

#### LD児への学習支援

アメリカで普及しているチャータースクール(子ども達の学習意欲を高めるため多様な教育プログラムを取り入れた市民立、地域立の学校に教育委員会が契約をし、学校運営に必要な経費を負担する制度)が日本でも必要になると考え、スタッフの研修やカリキュラムづくりなどに取り組んできた。

特に、知的な遅れがないにもかかわらず、読み書きに困難があるなどのために、学習が遅れがちになる子ども達(LD児)

への指導法を模索してきた。最近では教育委員会や学校から紹介されて通う生徒も増え、こうした実績により、ライズ学園には、今年度つくば市の補助金も出るようになった。

#### マナビィ・ネットの挑戦

ライズでは、子ども達に様々な体験の機会をつくるため、地域の人々と学校との接点づくりにも取り組んでいる。県教育委員会との協働による文部科学省委嘱、NPOと学校の連携推進事業の一環で昨年実施しているのが、いばらきマナビィ・ネット。地域の人材を社会人講師として学校に紹介したり、インターネットで、子どもや先生の質問に答えるホームページの開設などを行っている。

現在行っているモデル事業では、県内の4つの小・中学校がモデル校となり、様々な社会人講師の紹介依頼に対してライズのコーディネーターが対応している。国際理解教育では地雷の撤去に取り組むNGO、音楽では雅楽演奏を行うNPO、体育ではスポーツ系NPOというように、それぞれ専門性をもった団体関係者をコーディネート。普段体験できない授業も多く、子ども達、そして教師にとっても大きな刺激となっている。体操の授業では、跳び箱やマットを遊び感覚で楽しく行う工夫により、跳び箱が飛べるようになった子もいたとのこと。

#### コーディネーターの 役割が重要

このように地域の団体や様々な職種で働いている人と学校を結ぶ実験は、コーディネーターを置くことで多くの成果をあげ、学校、地域団体双方から好評を得ている。ライズでは、社会人講師からの授業案立案の相談を受けているほか、授業にもできるかぎり立ち会い、子ども達の発言を引き出すための間の取り方などをアドバイス。一方先生とは、社会人講師の魅力を引き出すための工夫を共に考えるなどしている。

先生も地域の講師も忙しい中、コーディネーターが果たす役割は大きい。2年間のモデル事業が終わっても交流を継続させるためには、ゲストティーチャーへの謝金やコーディネート費用をどう生み出すかも大きな課題。こうした難問を学校、PTA、様々な地域団体などのネットワークをつくることで解決しようと取り組む小野村さんは「学校をもっと楽しく、豊かな学びの場としたい」と言う。その原動力は「本物」をみたとときの子ども達の瞳の輝きかもしれない。

(文 横田能洋)

NPO法人リヴォルヴ  
学校教育研究所  
〒305-0051  
つくば市二の宮4-8-3 1-404  
Tel & Fax 029-856-8143  
E-mail: [npo\\_rise@ybb.ne.jp](mailto:npo_rise@ybb.ne.jp)  
<http://www.rise.gr.jp>  
いばらきマナビィ・ネット  
<http://www.manabee-net.org>

### TOPICS

#### 認定NPO制度改正キャンペーンに協力を

NPOへの寄付を税制面で支援する制度の必要性から、認定NPO制度ができて4年になります。寄付収入割合などの客観的な審査基準が設けられたことは評価できますが、基準が厳しすぎて殆どのNPOが認定の申請すらできない状況です。2年前の改正運動により、寄付収入が全体収入の5分の1あればよいことになるなど認定基準がやや緩和され、事業収益に係る法人税の軽減措置も取り入れられました。けれど全国で認定NPOの数はまだ25団体程度です。総収入である分母から本来事業に関する収入を控除したり、分子の寄付収入に

大口寄付や助成金も算入できるようにすれば、多くの団体が認定を受けられるようになります。認定要件を緩和させるには、NPOの当事者が税制支援がないと困るとアピールする必要があると、今年全国規模で署名活動を行なっています。また、法を変えるには世論の支持と国会議員の協力が重要です。NPOの取り組みを積極的に社会に伝え、寄付や会費、という社会からの「信任」を集める個々の団体の努力が制度改正につながります。コムズが行なっている各種調査、広報セミナー、12月4日に予定している「NPO支援税制を改正するための茨城集会」に是非ご協力をお願いします。

#### 移送サービス緊急集会

10月19日(火)13時から茨城県総合福祉会館で、「福祉移送サービスのガイドラインにどう対応するか」と題する緊急セミナーを行ないます。コラムにあるように、移動の保障を考えるための集会です。外出支援に関心のある方は是非ご参加下さい。(資料代 500円)主催(社福)茨城県社会福祉協議会、茨城福祉移送サービス団体連絡会、あいおい損害保険株式会社。18日(月)20時から放送されるNHK教育テレビ「福祉ネットワーク」でも茨城の取り組みが紹介されます。

情報掲示板(今月から来月にかけてのイベントなどを掲載しています)

イベント案内

活動センター1周年記念交流会「ボランティア交流会」
日時 10月17日(日)午後1時半
場所 阿見町町民活動センター(まい・あみショッピングセンター3階)
内容 これからのボランティア、社会貢献活動を考えよう
・ボランティア団体の情報交換、意見交換
・新規設立ボランティア団体の活動紹介
対象 NPO・ボランティアに関心をお持ちの方ならどなたでも
参加費 無料
申し込み・問い合わせ 阿見町町民活動センター
Tel&Fax 029-888-2051
E-mail: ami-vol@bz01.plala.or.jp

「育て上げ」ネット茨城セミナー
ひきこもりと一言でいっても、そのタイプは千差万別で、就労までの最良のプロセスは個々人に依ります。若者の「社会参加と就労」がさげられる昨今、ひきこもりの若者に特化した「社会参加と就労」を考え、実践してきた専門家に、「ひきこもりからの社会参加と就労」をテーマにお話しいただきます。
日時 10月24日(日)午後1時半～3時半(開場30分前)
場所 茨城県産業会館 研修室(水戸市桜川)
講師 河野久忠さん(NPO法人 青少年自立援助センター 常務理事)
資料代 会員一人500円、一般一人1,000円
主催 NPO法人「育て上げ」ネット
共催・問い合わせ NPO法人 茨城NPOセンター・commons
Tel 029-300-4321 Fax 029-300-4320
E-mail: info@npcocommons.org

NGOの現地の人の話を聴こう
シャブラニールの全国キャラバンは、バングラデシュやネパールの人々の生活や文化を紹介し、海外協力への参加を呼びかける機会として実施しています。キャラバンではバングラデシュスタッフを招聘し、子どもとおとなの関係性や、「変わる」ということの意味について考えます。
日時 11月5日(金)午後2時～4時
場所 コミュニティレストラン「とらい」(水戸芸術館より徒歩3分)
講演テーマ 「子どもとおとなの関係性」～バングラデシュのストリート・チルドレンの事例から～
「まず子どもたちの声に耳を傾ける。簡単なようで非常に難しいこの事実気付いたスタッフと、子どもたちに実際に起きていた変化をお話します。
講師 AFM・サイフル・イスラムさん
定員 15名
参加費 1,000円(お茶・お菓子付)
申込締切 11月2日(火)
問い合わせ 上記に同じ

「いばらき発 ほんのすすめ」第4回「まなぶ」～茨城県教育月間協賛イベント～
11月1日は「いばらき教育の日」というわけで、教育について考えてみましょう!・・・とは言ったもののよく考えてみると何が「教える」そして「学ぶ」ということなのでしょう?

各講演者の日々の活動から得た、育児、いじめ、不登校、家庭内暴力、引きこもり、学級崩壊、そして人間関係など様々の問題について、それぞれの角度からお話を頂きます。新しい毎日へと踏み出す勇気を皆様に少しでもお配りできたなら幸いです。
日時 11月7日(日)午後1時45分～5時
場所 茨城県県南生涯学習センター 中講座室2(土浦市)
講演内容
演題「魔法の学校では なにをお勉強するの?」 有田道子(魔法おばさん)
演題「親のまなび、子のまなび」 鈴木稔(アドラー心理学カウンセラー、心のバリアフリーネットワーク主宰、国際幼稚園・英会話スクール・自然塾「アイエルワイ」代表)
演題「江戸塾 出張講座」 清水克衛(読書普及協会理事長、書店「読書のすすめ」代表)
定員 70名(先着順)
参加費 大人1口500円で2口から、小・中・高校生無料
\*寄付金また収益金の一部を小冊子「閉ざされた世界の中で懸命に生きる子供たち」を県南地域の中学校へ寄贈する費用に充てさせていただきます。
主催・問い合わせ NPO法人読書普及協会 茨城支部(代表世話人 菅原克行さん)
Tel&Fax 0297-27-4648
E-mail: h-suga@k7.dion.ne.jp

映画「ヒバクシャ 世界の終わりに」
上映会 in 水戸市
監督の鎌仲ひとみさんのイラクでの小さなヒバクシャとの出会いがきっかけとなり、アメリカの核実験、日本の原爆によるヒバクシャの取材をもとに制作したドキュメンタリー作品です。
日時 11月7日(日) 午後2時～午後6時(上映時間116分)
場所 水戸市男女文化センターびよんど大会議室(水戸芸術館隣)
鑑賞券 一般1,000円、高校・大学生800円、中学生500円
問い合わせ 水戸で「ヒバクシャ」を上映する会(代表のぐちさん)
Tel 090-2912-5438
E-mail: eco-wan@ezweb.ne.jp

治療教育講座 ありのままの子どもとともに
「発達にハンディキャップがある」といっても、その内容は多様です。その重みを少しでも軽減したい、そして、持てる力を十分に発揮してもらいたいと願って育てていく中において、悩みや疑問が無くなることもありません。仲さんのお話を通して、子どもとどう関わっていくのかの手がかりになれば、私たちは願っています。
日時 11月9日(火)午前10時～正午
場所 大久保幼稚園(遊戯室)
講師 仲正雄さん
定員 30名
参加費 1,000円
\*講座会場へのお子様のお入場はできません。
託児 要予約(1人500円、先着10名、10月29日(金)まで)
申し込み・問い合わせ 学校法人 公土園 大久保幼稚園
Tel 0294-33-2274 Fax 0294-38-2584
E-mail: kotoen@ce.wakwak.com

レ・N P O 日 体 験
8月28日から1週間、NPO法人ウィラブ北茨城でインターンシップをさせていただきました。ウィラブ北茨城は、地域福祉の増進を目的に、北茨城市・周辺地域のお年寄り等に対する介護・移送サービスや、世代を超えた住民交流の場づくり等を行っている。7日間、高松代表はじめスタッフの方々と行動を共にすることで、予想以上に多くのことを学ぶことができた。
活動の1つとして、ヘルパーの方と一緒にお年寄りの家を訪問させていただきました。そのお年寄りによって、食事のお手伝いをしたり話し相手になったり、どの方もウィラブをととても頼りにしているのだということが感じられた。介護保険スタート後、介護事業の競争が始まったが、一部の心無い事業所では時間をごまかしたり余計なサービスを入れたりするという。ウィラブは、介護保険制度の本来目的である自立へのサポートを目指し、その人のことを第一に考えた本当の意味で心のこもった介護を目指しているようだ。スタッフの方々と行動を共にしてそのことがよく伝わってきた。

ウィラブが主催するバーベキュー大会にも参加させていただきました。当初は「インターンシップなのに楽しんでいいのかな」と考えたけれど、世代を超えて様々な人と触れ合うことも福祉だということを高松さんに教えられ、確かにその通りだと思った。地域の結びつきが希薄になっている現在、このようなふれあいの場がもっと必要である。そんなことを考えながら童心に帰って楽しんでしまった。魚の掴み取りをする子供達、それを応援するお父さんお母さん、たくさんの方の笑い声の中にあるということがとても幸せだった。
ウィラブで過ごした1週間、今の時代に1番必要なのは人と人とのつながりだということを実感した。そして、人の持つ温かさにたくさん触れることができた。大切なことを教えて下さった高松さん、いつも笑顔で接して下さったスタッフの方々に心から感謝している。



NPO法人 ウィラブ北茨城
〒319-1544
北茨城市磯原町上相田99-1
Tel 0293-43-1208 Fax 0293-43-1366

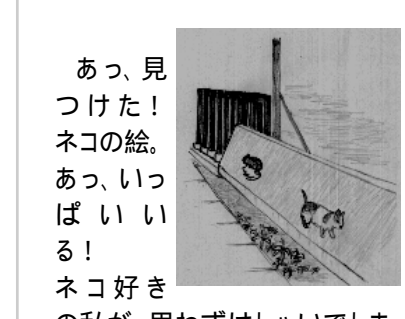


(文 石田 奈津美さん = 茨城大学2年生)

子供の反抗を通して考える
- ドイツから仲正雄さんをお招きして -
子供の反抗について、気質の話をかためながら仲さんに話をさせていただきます。子供と向き合うヒントが、得られるのではないのでしょうか!
日時 11月10日(水)午前10時～正午
場所 日立市視聴覚センター・大ホール
定員 150名 資料代 500円
\*講演会へのお子様のお入場はできません。
\*託児は、先着30名、他は上記に同じ。
問い合わせ 上記に同じ

訂正とお詫び
前号(第22号)一面「NPOのひとつと」コーナー右下枠内の団体連絡先の内容に誤りがありましたので、以下のとおり訂正し、お詫び申し上げます。
NPO法人 せんだいファミリー サポート・ネットワーク
Tel&Fax 022-279-2852
のびすく仙台 (仙台市子育てふれあいプラザ)
Tel 022-726-6181
http://www.nobisuku-sendai.jp

五軒町だより
事務日誌にかえて
こんなところに



あっ、見つけた!
ネコの絵。
あっ、いっぱいいる!
ネコ好きの私が、思わずはしゃいでしまったのは、お馴染み水戸芸術館の企画「カフェイン水戸」で、街の中に作られた作品の一つ。古いコンクリート塀にネコたちが直接ペイントされて遊んでいます。
そこはしばらく前にビルが壊され、塀の中は一面広い更地だったのですが、いつの間にか駐車場になっていたようです。こんな殺風景な所でもネコの絵だけで人の顔をほころばせるのは、やはりアートだからなのでしょう。
こういうふうな気づかせる力、芸術という枠を越えて、とても魅力的だと思う。改めてこの街の財産を思う秋のひとつコマでした。

(文と絵 草間多佳子)

- ハモナカフェ(Tel029-871-2157) 水戸芸術館(Tel029-227-8111) 水戸カトリック教会(Tel029-221-3976) ギャラリー「街かど美術館」(Tel0294-72-8888) 自然食レストラン「パンペン」(Tel0293-42-1818) 常陸太田生涯学習センター(Tel0294-72-8888) カフェ「ピアノシモ」(Tel029-255-3777) 自然食品「イーハトーブの森」(Tel090-9933-9236) こどもとおとなの学校「恵藍舎」(Tel029-246-9689) 県水戸生涯学習センター(Tel029-228-1313) 交流サロニー「いばらき」(Tel029-302-2160) 水戸市国際交流センター(Tel029-221-1800) 水戸市福祉ボランティア会館(Tel029-309-4141) まちの駅みと(Tel029-302-3100) 菜食カフェレストラン「Ritz n(りつつん)」(Tel029-856-0009) つくば市市民活動センター(Tel029-855-1171) 鹿嶋市立中央図書館(Tel0299-83-2510) 龍ヶ崎市市民活動センター(Tel0297-63-0030) 守谷市民活動支援センター(Tel0297-46-3370) 下館市立図書館(Tel0296-24-3530) 県西生涯学習センター(Tel0296-24-1151) 県南生涯学習センター(Tel029-826-1101) 県立図書館(Tel029-221-5569) 水戸市立中央図書館(Tel029-226-3951) 水戸市立西部図書館(Tel029-255-5651) 水戸市立東部図書館(Tel029-248-4051) まちかど情報センター(Tel0299-27-5171) 水戸市男女文化センターびよんど(Tel029-226-3161) ロイヤルフィットネスクラブ(Tel029-273-3281) 阿見町町民活動センター(Tel029-888-2051) 伊奈町立図書館(Tel0297-58-3710) コープフレール水戸店(Tel029-246-1421) 学びの場「あがべ」(Tel029-221-8836)

あ と き 休みをとるか、ポリープをとるか うむを言わせぬレントゲン(ハリー) ネコの手も借りたいような、そんな毎日。(くまちゃん) 攻めの群馬、守りの柵木、どっちつかずの茨城だっぺ(雪) 熊の手も借りたいような、そんな共存(公威) カムイさん、カムン、カムバック(シェン)